

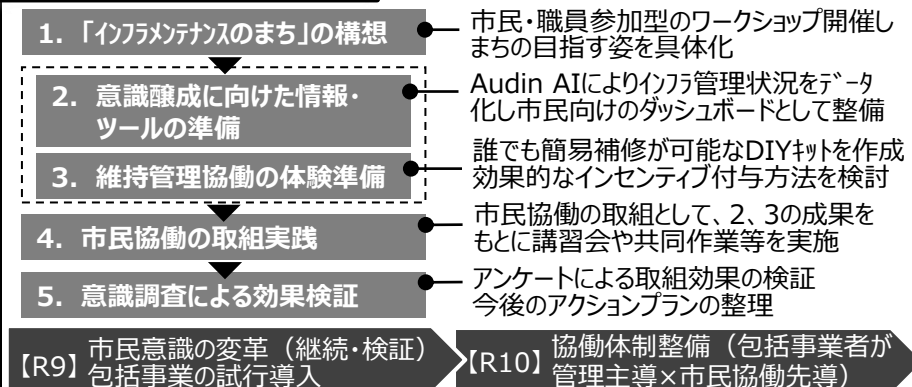
【実施主体】パシフィックコンサルタンツ・NTTフィールドテクノ・ショボント建設 共同提案体

【タイトル】市民協働を基盤とした「インフラメンテナンスのまち」の形成（モデル構築地方公共団体：兵庫県宝塚市）

①調査概要

目的	宝塚市を「インフラメンテナンスのまち」に位置付け、職員・市内業者・市民が積極的・主体的に維持管理に取り組む／取り組みたくなる環境を醸成する
内容	民間技術・ノウハウを活用して、市民との認識共有（市の置かれる現状を保有データや未整備情報が見える化、等）・市民への意欲促進（DIYツール等を活用したメンテナンスの体験）を図る
解決課題	人口減少に伴う職員の管理負担の軽減や、維持管理に対するマイナスイメージの払拭

②実施方針・フロー



③モデル構築地方公共団体概要

■宝塚市の基礎情報

- ・人口：226,155人（R8.4月末現在）
- ・面積：101.89km²
- ・市道延長：約860km
- ・道路橋：443橋、横断歩道橋：10橋
- ・トンネル：2本、大型加圧トンネル：2基ほか

■抱える課題

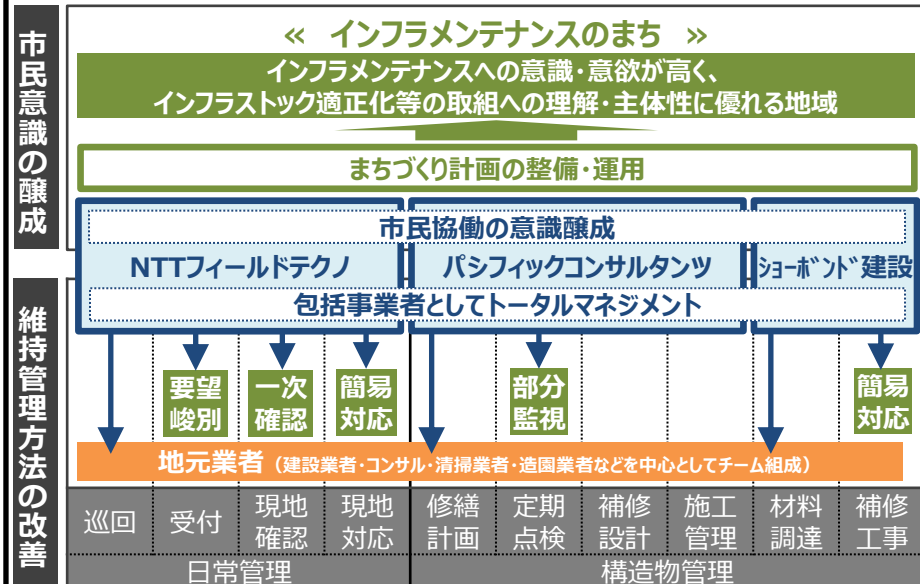
- ・多大な時間を要している日常管理業務（窓口・現場確認等）の効率化
- ・上記負担軽減による職員の政策検討および技術力向上の取組時間の確保
- ・市民が作成した「20地域ごとのまちづくり計画」と「インフラメンテナンス」の運動 宝塚市に向けた市民対話の実行

■検討状況

- ・本提案に向けて、民間事業者との事前打合せ・現状把握のための庁内アンケート（業務量調査等）を実施
- ・一部施設の包括事業の試行導入に向けて取組実行中

④スキームの概要

■スキーム概要



■期待される効果

- ・自治体：維持管理手法改善による負担軽減、取組推進における市民との合意形成の基盤形成、長期的な担い手確保
- ・地元企業：技術力向上、安定的な業務量確保
- ・市民：インフラの安全性向上、インフラ管理における興味関心の向上